

私立大学図書館協会 2010 年度第 2 回常任幹事会議事要録

- 1 日 時 2010 年 12 月 3 日（金） 14 時 25 分 ～ 17 時 10 分
- 2 場 所 青山学院大学 総合研究所ビル 9 階 第 1 5 会議室
- 3 出席者 配付資料 1 のとおり

議事に先立ち、会長校関西大学図書館の北川館長（議長）より挨拶の後、出席者の自己紹介があった。

<報告事項>

1 協会会務報告

(1) 加盟校数について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき次の報告があった。

- ① 2010 年度加盟校数は 2010 年 4 月 1 日現在、東地区 260 校、西地区 260 校、合計 520 校である。
- ② 2011 年度新規加盟校（予定）は 2010 年 12 月 3 日現在、東地区 2 校、西地区 0 校、合計 2 校である。
- ③ 2010 年 12 月 3 日現在、東地区 0 校、西地区 1 校の脱退届を受理した。
- ④ 2011 年度加盟校数（予定）は東地区 262 校、西地区 259 校、合計 521 校となる予定である。

(2) 加盟館名称変更について

会長校関西大学（金）より、配付資料 2 にもとづき、2010 年 9 月 8 日以後、館名変更の届はなかったことの報告があった。

(3) 未加盟校への勧誘について

会長校関西大学（金）より配付資料 2 にもとづき、本協会未加盟校に対して会長校より以下の資料を 10 月 25 日付で送付し、加盟についての案内を行なったこと、ならびに 1 件の問い合わせがあったこと、医・薬・看護系の大学 15 校は既に他の協会・協議会に加盟しているので広報の意味合いを込めて送ったことの報告があった。

- ・私立大学図書館協会への加盟について（案内）
- ・私立大学図書館協会について
- ・私立大学図書館協会会則
- ・私立大学図書館協会組織図
- ・私立大学図書館協会加盟校数一覧
- ・私立大学図書館協会東地区部会事業内容
- ・私立大学図書館協会西地区部会事業内容

- ・加盟申込書
- ・協会会報第 133 号
- ・第 71 回総会・研究大会資料
- ・教育学術新聞（写）

(4) 加盟校への書類等の送付について

会長校関西大学（金）より配付資料 3 にもとづき、2010 年 9 月 8 日開催の東西合同役員会以後に以下の書類を加盟大学図書館宛に送付したことの報告があった。

さらに電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化については、協会ホームページの掲示板「インフォメーションサービス」により、国立情報学研究所のホームページの <http://www.nii.ac.jp/news/2010/1013> を見てもらうよう案内したことの報告があった。

① 9 月 17 日付発送

- ・ 2010 年度協会賞受賞候補者の推薦について（依頼）
- ・ 2010 年度研究助成の募集について（お知らせ）
- ・ 2010 年度研究助成応募要領
- ・ 課題研究のテーマについて
- ・ 2010 年度海外認定研修について（ご案内）
- ・ 2010 年度第 2 回寄贈資料搬送事業実施について（ご案内）

② 11 月 15 日付発送（メールマガジンによる）

- ・ 著作権に関する権利者側の要望事項について（お願い）
- ・ 著作権に関する権利者側の要望事項に関する周知と意見募集について（お願い）
- ・ 「発行後相当期間」に関する権利者側要望の骨子について（図書館側まとめ）
- ・ 著作権法 31 条に基づく複製以外に図書館が行なう複製について

(5) 会報の刊行について

会長校関西大学（金）より標記について、配付資料 3 にもとづき次の報告があった。

- ・ 会報第 134 号は 2010 年 9 月 8 日に刊行した。東地区・西地区各々の会務報告・研究大会報告を掲載している。
- ・ 第 135 号は、現在、会報担当校（名古屋外国語大学・名古屋学芸大学）と総会当番校（西南学院大学）で準備中である。
- ・ 奇数号には協会総会・大会報告を掲載し、偶数号には東地区・西地区各々の会務報告・研究会報告を掲載している。

- (6) 電子掲示板「インフォメーションサービス」の運用状況について
会長校関西大学（金）より標記について、10月1日より試験的運用を開始したことならびに利用者ID申請件数、インフォメーションサービス利用件数の報告があった。
- 2 東地区部会会務報告
東地区部会長校青山学院大学（添田）から配付資料4～5にもとづき報告があった。
- 3 西地区部会会務報告
西地区部会長校同志社大学（上田）から配付資料6～12にもとづき報告があった。
- 4 委員会報告
- (1) 協会賞審査委員会報告
会長校関西大学（金）より配付資料13にもとづき、協会賞の推薦受け付けは2010年10月8日（金）から2011年1月31日（月）までであること、ならびに12月3日現在で推薦がないことの報告があった。
- (2) 研究助成委員会報告
会長校関西大学（金）より配付資料13にもとづき、研究助成の申し込み受け付けは2010年10月1日（金）から12月10日（金）までであること、ならびに12月3日現在で1件の問い合わせがあることの報告があった。
- (3) 国際図書館協力委員会報告
会長校関西大学（赤木）より配付資料13～14にもとづき、会議報告ならびに2010年度海外集合研修、2011年度海外派遣研修参加者、第2回寄贈資料搬送事業、海外認定研修の申請状況について報告があった。
海外認定研修は11月30日に募集を締め切ったところ3件の申請があった。まだ予算が残っていることから、第2次募集をすることについて、常任幹事会として国際図書館協力委員会に諮ることとした。
- (4) 協会ホームページ委員会報告
会長校関西大学（金）より配付資料14にもとづき、会議報告ならびにWWW情報資源提供サービス利用状況について報告があった。
さらに、会長校として取り組んでいる、本協会ホームページの運用の外部委託に関する調査の進捗状況の報告があった。
また会長校関西大学（金）より新規サーバー契約について説明があった。

5 協会関連事項報告

(1) 国公立大学図書館協力委員会報告

会長校関西大学（金）より配付資料 14～15 にもとづき、著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集があったことならびに電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化を中心に会議報告があった。

(2) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について

会長校関西大学（金）より配付資料 15 にもとづき、国会図書館による所蔵資料デジタル化ならびにWebの収集と公開、博士論文デジタル化の進捗状況、IFLA年次総会招致について懇談したことを中心に報告があった。

(3) 著作権に関する権利者側の要望事項に係る意見募集について

会長校関西大学（金）より配付資料 15～16, 36～39 にもとづき、国公立大学図書館協力委員会大学図書館著作権検討委員会から次のことについて意見募集の依頼があったこと、ならびに私大図協発第 10-67 号（2010 年 11 月 15 日付）文書（メールマガジンによる）にて加盟館に周知するとともに意見募集への協力依頼を行なったことの報告があった。

- ・発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物を図書館が複製する場合において、権利者が出版物等に適宜、「発行後相当期間」を表示すること
- ・私的使用目的の複製ならびに教育を担当する者及び授業を受ける者がする複製など著作権法第 31 条以外の複製について、図書館は館内において禁止すること

(4) 電子ジャーナル・コンソーシアムの連携強化について

会長校関西大学（金）より配付資料 16 にもとづき、標記について国立情報学研究所と国公立大学図書館協力委員会が協定を締結し、ワーキング・グループを設置することになったこと、ならびにプレスリリースを実施したことの報告があった。

6 2010年度協会役員校、委員会および協会関連団体委員について

会長校関西大学（金）より配付資料 17～19 にもとづき異動の報告があった。

7 2011年度行事・会議予定について

会長校関西大学（金）より配付資料 20 にもとづき報告があり、今後の日程の調整について説明があった。

<協議事項>

1 2010年度一般会計・特別会計支出状況ならびに決算見込について

会長校関西大学（金）から配付資料 21～25 にもとづき、2010 年 11 月 25 日現在の支出状況と決算見込みについて次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・次年度繰越金は前年度繰越金と比較して増える見込みである。
 - ・運営費のうち印刷費が赤字となる見込みである。
 - ・会報刊行費は約 50 万円の黒字となる。
 - ・協会HP運営費は英語ホームページの更新とサーバーの移行のための費用に充てる。
 - ・研究助成特別会計は予算どおり 60 万円の収入を見込んでいる。
 - ・国際図書館協力基金特別会計は現在 7 社から協力があり、さらに 9 社からの協力を見込んでいる。
 - ・国際図書館協力基金特別会計のシンポジウム費は 619,444 円の赤字となり、予備費より補てんした。
 - ・国際図書館協力基金特別会計の搬送事業費のうち、第 1 回搬送事業において 1 件、63,810 円が執行された。
 - ・総会・研究大会特別会計のうち総会・研究大会特別協力費に、9 社からインフォデスク出展料として合計 18 万円の収入があった。
 - ・総会・研究大会特別会計の貸切バス代金は 6 台で 427,200 円となった。
 - ・総会・研究大会特別会計の資料作成費において、総会研究大会冊子は新規加盟校の勧誘用に 100 冊を加え、計 900 冊を印刷した。
 - ・第 71 回総会・研究大会からの戻入として約 28 万円が見込まれる。
- 協議の結果、異議なく了承された。

2 2011年度事業計画（案）について

会長校関西大学（北川、金）より、配付資料 26～28 にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・現会長校と次期会長校とで調整し、事業計画案を取りまとめた。
- ・これまでの協会事業を継承しつつ、統合ポータルサイトの改良ならびに協会ホームページの充実と運用の合理化などの新たな事業に取り組みたい。
- ・本日の検討結果をもとに修正を加えた事業計画案を 3 月 4 日開催の東西合同役員会に上程したい。

協議の結果、異議なく了承された。

3 2011年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校関西大学（金）より、配付資料 29～30 にもとづき、次の説明ならびに提案が行なわれた。

- ・一般会計の協会HP有料サイト利用料は166,950円となる。協会HP運営費は、サーバーのメンテナンスやコンテンツの作成・維持を外注する際の見積りができていないため0円とした。
- ・研究助成は3件採用されるものとした。
- ・国際図書館協力特別会計に新たに海外認定研修補助費を設け、50万円を計上した。

以上の説明を受け、次のことが協議された。

- ・一般会計にデジタル化した協会史をホームページにアップする費用を計上する。
- ・協会HP運営費は予算上は0円のままにしておき、HPのリニューアル案などがまとめればコンテンツの作成・維持などを外注することを検討し、最大300万円までは予備費から支出できるよう、役員会と総会の了承を得る手続きを進める。

協議の結果、異議なく了承された。

4 第72回（2011年度）総会・研究大会について

会長校関西大学（金）より、配付資料31にもとづきスケジュールの説明、ならびに次期会長校・立教大学および次期総会当番校・早稲田大学、本年度総会当番校・西南学院大学、会長校・関西大学で引き継ぎと調整を行なうことの説明があった。

協議の結果、異議なく了承された。

<懇談事項>

1 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

会長校関西大学（金）より配付資料33～35にもとづき選出状況の説明があり、委員会委員の選出方法について種々懇談を行なった。

2 2011年度協会脱退届の取り扱いについて

会長校関西大学（金）より今後の取り扱い方針について提議があり、種々懇談を行なった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。